☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　２０１８

丹波新聞　平成３０年６月２８日（木）

戦力アップ「夏1勝」ねらう

氷上西

位置	氏名	学年	身学出中
（投）	蘆田 祐馬	3	青垣
（捕）	上山 亮弥	2	春日
（一）	岡 洸樹	1	青垣
（二）	西山 直樹	3	市島
（三）	福井 和貴	3	青垣
（遊）	谷川 竜輝	2	青垣
（左）	赤木 昇雅	2	氷上
（中）	鹿間 樹勇	2	青垣
（右）	井上 連	1	春日
	芦田 成空	3	氷上
	植木 大弥	3	氷上
	後藤 佑信	3	氷上
	坂本 明	2	青垣

西山直樹主将の話

「高校から野球を始め、仲間に助けられここまで来た。1つひとつのプレーを大切に守り、打撃は1人ひとり遠くに飛ばす。最後の大会で力を出し切る」

昨年は男子部員が1、2年生のみ6人と、他のスポーツ同好会から3人助っ人を借りてチームを編成。今年は野球経験がある1年生部員が2人加わり戦力アップ。チームも成長しており、練習試合で数年ぶりの勝利を挙げた。次は、10数年ぶりの「夏1勝」をねらう。

チームの要はエースで4番を打つ蘆田祐馬君（3年）と、打率5割と2番打者ながらチーム1の高打率の上山亮弥捕手（2年）のバッテリー。蘆田君は、ストレートにスライダー、カーブ、ツーシーム、シンカーと多彩な球種を持つ軟投派。1年生からエースで、過去2大会は5回コールド負け。「9回まで戦う。四球を出さないようにする。チャンスで1本打ちたい」と意気込みを語る。

内野の要の遊撃手で1番を打つ谷川竜輝君（2年）が出塁し、上山君、蘆田君で返し、得点を挙げたいところ。上山君は「ボールを芯に当て、野手の間を抜きたい」と言う。

課題の守備も、内外野とも特守に取り組み、チーム全体に相乗効果が生まれつつある。実践経験が少ないのが課題で、取れるアウトをひとつずつ積み重ねていく。

同校は女子が男子と同じ練習をしている。練習試合でマルチ安打を記録した渡邉美里さん（3年）は大会ではマネージャーとして選手を支える。「あきらめずに戦ってほしい」とエールを送っている。